

絵本の絵を読む楽しみ

絵本を読む、といっても絵本の中の文字だけを読んではいませんか？なるほど、ことばが語ったことをそっくりそのまま絵に描いただけという絵本もありますが、本当の絵本は、絵がことばを解釈しています。ことばが省かれて絵が語り、絵が省かれてことばが語る、そのようにして物語は展開するので、絵本の魅力は絵を読む楽しみにあります。ユーモアは絵が語っている場合が多いので、一緒に絵本の絵を楽しんでみませんか。

講 師 吉 田 新 一 氏

(翻 訳 家)

略 歴：1953年 立教大学文学部英米文学科卒業
1957年 立教大学大学院文学研究科英米文学専攻修了
1953～61年 立教高校教諭
1961～91年 立教大学勤務（71年～教授）
1991年～99年 日本女子大学教授
1996年～ 立教大学名誉教授
1977～84年 日本イギリス児童文学会第二代会長
1997～99年 絵本学会初代会長
1990年～ 軽井沢絵本の森美術館顧問（2003年～名誉顧問）

主要著書：

『イギリス児童文学論』 『絵本の楽しみ』 『絵本の魅力』 『ピーターラビットの世界』
『絵本/物語るイラストレーション』
編著『ジャンル・テーマ別英米児童文学』 『ピーターラビットからの手紙』
『現代絵本の扉をひらく/コールデコットの絵本』